



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月8日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 隆一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,174	△5.1	121	25.4	127	27.5	84	13.0
28年3月期第1四半期	7,560	2.2	97	37.0	100	43.7	74	80.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 80百万円 (△4.6%) 28年3月期第1四半期 84百万円 (64.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	26 79	— —
28年3月期第1四半期	23 70	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	8,372	1,932	22.5	599 24
28年3月期	7,581	1,995	25.0	601 96

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,887百万円 28年3月期 1,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	— —	0 0	— —	30 0	30 0
29年3月期	— —				
29年3月期 (予想)		0 0	— —	30 0	30 0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	15,805	4.4	189	2.4	189	△3.2	124	△1.8	39 48
通期	30,000	7.9	319	25.3	319	17.5	200	22.7	63 50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規__社（社名）、除外__社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期 1 Q	3,150,000株	28年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	29年3月期 1 Q	211株	28年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期 1 Q	3,149,789株	28年3月期 1 Q	3,149,789株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の財政・金融政策を背景に緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や英国の欧州連合（EU）からの離脱決定による世界経済への影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、食の安心・安全に対する消費者の社会的関心は引き続き高く、品質管理体制のより一層の強化が求められているほか、国内市場の縮小化や原材料価格の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な供給体制並びに品質管理体制を維持・強化するとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。野菜汁などの農産物同加工品や子会社における製造販売事業が好調に推移したものの、香料や糖類などの食品副原料の販売数量が減少したこと、平成28年2月末にFC店舗を1店舗閉店したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,174,964千円（前年同期比5.1%減）となりました。一方、販売活動にともなう諸経費などの販売管理費が減少したことから、営業利益は121,930千円（前年同期比25.4%増）、経常利益は127,580千円（前年同期比27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,378千円（前年同期比13.0%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、各社、アイテムの選択と集中を推し進め、プロダクトミックスの最適化による利益確保へシフトしており、付加価値を訴求した商品展開を強化しているものの、小売優位の情勢や原材料高騰もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。粉乳調整品などの乳製品の販売が堅調に推移し、果肉缶詰や野菜汁などの農産物同加工品の販売数量が増加したものの、香料や糖類などの食品副原料や飲料製品の販売数量が減少したことなどにより、売上高は6,991,147千円（前年同期比4.0%減）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。業務用バルクアイスの販売数量は減少したものの、新規及び既存取引先からの受託製造件数が増加し、個食用カップアイスが伸長したことから、売上高は213,532千円（前年同期比25.5%増）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、同地区の再開発にともない平成28年2月末に1店舗閉店いたしました。その結果、売上高は198,387千円（前年同期比26.2%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ784,162千円増加し、7,188,756千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品、未収入金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,540千円増加し、1,184,208千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて791,702千円増加の8,372,965千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ、990,271千円増加し、5,437,507千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ135,443千円減少し、1,002,669千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ854,827千円増加し、6,440,176千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ63,124千円減少し、1,932,788千円となりました。主な要因は、非支配株主持分の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月10日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,355	1,038,833
受取手形及び売掛金	3,535,153	4,346,821
商品及び製品	1,087,866	1,162,470
未着商品	287,925	332,561
原材料及び貯蔵品	25,377	27,544
未収入金	92,068	204,517
繰延税金資産	31,989	24,067
その他	48,559	56,639
貸倒引当金	△4,700	△4,700
流動資産合計	6,404,594	7,188,756
固定資産		
有形固定資産	410,000	400,308
無形固定資産	71,237	64,645
投資その他の資産	695,430	719,253
固定資産合計	1,176,667	1,184,208
資産合計	7,581,262	8,372,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,342,599	4,164,208
1年内返済予定の長期借入金	613,768	595,516
未払金	276,244	496,787
未払法人税等	75,228	25,185
賞与引当金	33,320	21,900
その他	106,074	133,910
流動負債合計	4,447,236	5,437,507
固定負債		
長期借入金	1,016,855	876,665
資産除去債務	4,359	4,378
その他	116,898	121,625
固定負債合計	1,138,112	1,002,669
負債合計	5,585,349	6,440,176
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	292,475
利益剰余金	1,105,088	1,094,973
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,756,733	1,750,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,638	135,259
繰延ヘッジ損益	△10,676	△16,405
為替換算調整勘定	31,336	17,906
その他の包括利益累計額合計	139,298	136,759
非支配株主持分	99,880	45,321
純資産合計	1,995,912	1,932,788
負債純資産合計	7,581,262	8,372,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,560,809	7,174,964
売上原価	6,860,018	6,500,473
売上総利益	700,790	674,490
販売費及び一般管理費	603,576	552,560
営業利益	97,213	121,930
営業外収益		
受取配当金	1,950	1,955
為替差益	2,168	5,870
受取手数料	1,611	1,611
受取補償金	544	988
その他	917	101
営業外収益合計	7,192	10,527
営業外費用		
支払利息	3,340	2,452
支払補償費	913	2,352
その他	95	72
営業外費用合計	4,348	4,877
経常利益	100,057	127,580
税金等調整前四半期純利益	100,057	127,580
法人税、住民税及び事業税	38,955	25,484
法人税等調整額	△7,018	10,315
法人税等合計	31,937	35,800
四半期純利益	68,120	91,780
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,518	7,401
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,638	84,378

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	68,120	91,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,202	16,620
繰延ヘッジ損益	△2,940	△5,728
為替換算調整勘定	4,667	△22,448
その他の包括利益合計	15,929	△11,556
四半期包括利益	84,049	80,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,750	81,839
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,700	△1,616

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,228,607	63,423	7,292,030	268,778	7,560,809	—	7,560,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54,811	106,662	161,473	—	161,473	△161,473	—
計	7,283,418	170,085	7,453,504	268,778	7,722,282	△161,473	7,560,809
セグメント利益	76,233	11,629	87,863	6,300	94,164	3,049	97,213

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,049千円は、セグメント間取引消去3,049千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,933,028	43,548	6,976,576	198,387	7,174,964	—	7,174,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,119	169,983	228,103	—	228,103	△228,103	—
計	6,991,147	213,532	7,204,679	198,387	7,403,067	△228,103	7,174,964
セグメント利益	99,629	19,690	119,320	1,885	121,205	724	121,930

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額724千円は、セグメント間取引消去724千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。